

卒業の言葉

桜のつぼみも膨らみはじめ暖かな春の陽気も感じられる季節となりました。本日はこのような社会状況の中、私たち十期生のために卒業式を挙げていただきありがとうございます。また、先ほどは校長先生をはじめ、ご来賓の方々、在校生の方からのあたたかいお祝いと励ましの言葉をいただきましたことを心から御礼申し上げます。

中学校生活に期待と不安を胸に抱きながら迎えた入学式。ついに、富士の生徒になれたのだと実感したことを覚えています。

この三年間で、私たちは多くの事を経験し、学びました。一年生では八ヶ岳自然探究教室に行きました。二年生、三年生では残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で学年行事を行うことができませんでしたが、自宅待機期間やオンライン授業を通して仲間の大切さを学びました。

そして、忘れられない思い出のひとつに、富士の三大有事があります。昨年度は中止、本年度は、オンラインを活用した文化祭と学年ごとの体育祭だったため、一年生のときの迫力ある6学年が揃った富士の文化祭や体育祭は今でも鮮明に覚えています。

三年間の中で、私が特に印象に残っていることがあります。それは、富士レクです。二年生のはじめは新型コロナウイルス感染症拡大の影響で休校期間があり、クラスの仲間とも会えない日々が続いていました。その時に、富士レクがあったことで仲間とつながり、協力することができました。そのおかげで、その後の生活でクラスの絆を深めることができました。富士レクを通して、仲間と心をつなぐ協力をすることの大切さを学び、そこから生まれる喜びや楽しさは計り知れない程の大きさを持つということを知りました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、オンラインという新しい形で授業が開始されたことも、とても印象に残っています。最初はその形態に戸惑いもありました。しかし、先生方がオンラインを活用した授業を毎日おこなってくださり、自宅で不安な日々を過ごしている私たちにとって、それはいつしかとても大切な生活の一部となりました。その一方で、仲間と直接会えないことの寂しさからは仲間の大切さを改めて学びました。

今まで当たり前であることがどんなにありがたいかということを学んだのも富士中での生活の中でした。

在校生の皆さん、富士中学校はテストに課題、その他にも行事や部活動など日々忙しくて大変です。しかし、それら全てはとても大切であり、その後の皆さんを支える力となります。全てのことに全力で取り組み、仲間とともに楽しく充実した中学校生活を送ってください。

四月から私達十期生は高校生になり、新しい生活が始まります。高校生になると勉強はより難しくなるだろうという不安はありますが、コロナ禍を乗り越えて来た生活を活かして、日々精進してまいります。また、中学校を卒業するということは、義務教育の終了でもあります。これからは今までのようにすべてが与えられるのではありません。与えられるのを待つのではなく、自分から積極的に学ぶ姿勢を忘れずに充実した高校生活を送りたいと思います。

今日まで一緒に歩み続けた十期生のみなさん。皆さんが、仲間でもあり、良きライバルだったからこそ、ここまでこれたのだと思います。この三年間を振り返ると、いろいろなことがありました。困ったときに何も言わずに手を差し伸べてくれる仲間がいて、とても心強い三年間でした。ありがとうございます。一日一日がとても大切良い思い出です。過去を振り返ることも大切ですが、これからもお互いに今ここを大切にしていきましょう。

私たちが今日の日を迎えることが出来たのは校長先生をはじめ、時に優しく時に厳しくいつも私たちを支え熱心に指導して下さった先生方、学校生活を支えて下さった企画室の皆様、美味しい給食を作って下さった栄養士さん、調理員の皆様のおかげです。ありがとうございました。

最後になりましたが、最も近くで私たちのことを応援し、日々見守って下さった保護者の皆様、本当にありがとうございました。私たちがこの場に立っているのは保護者の皆様がここまで大切に育てて下さったのおかげです。まだまだ甘えてしまう日もありますが、これからもよろしくお願ひします。今日ここに参加がかなわなかった保護者の皆様にも、私たちの思いが届くように祈り、3年生を代表して御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

拙い言葉ではありましたが、私たちがお世話になったすべての皆様にもう一度心より感謝を申し上げ、卒業生の言葉といたします。

令和四年三月十二日

卒業生代表 三年二組 高尾